

前へ 2030

「個」を磨き、
ともに持続可能な社会を創る

MEIJI UNIV. GRAND DESIGN

明治大学 グランドデザイン 2030



全学グランドデザインの位置づけ

グランドデザインは、創立150周年を見据え、建学の精神、理念、本学の使命を再確認すると同時に、10年後の本学の将来像（ビジョン）と、それを実現するための重点施策を示すものと位置づけています。

このたびグランドデザイン2030を発表し、学長方針および各機関が作成する長・中期計画書、単年度計画書等、実行計画策定の指針とします。

今後、学校法人明治大学が策定する長期ビジョンにおいても、明治大学の教学長期ビジョンとして、中期計画等へ反映されていくものです。

ミッション

— 建学の精神 —
権利自由、独立自治

— 理念 —
「個」を強くする大学

— 使命 —
知の創造と人材の育成を通し、自由で平和、豊かな社会を実現する

ビジョン

グランドデザイン2030

コンセプト： 前へ「個」を磨き、ともに持続可能な社会を創る—

構成： (1) 本学の果たすべき役割

(2) 150周年に向けた全学ビジョン

①教育 ②学生支援 ③研究 ④社会連携・社会貢献 ⑤大学運営

(3) 全学ビジョン達成のための重点施策

戦略

学長方針
(学長任期連動)

行動計画

各学部・機関 長・中期計画書
3~5年間

各学部・機関 単年度計画書
1年間

コンセプト

前へ

—「個」を磨き、ともに持続可能な社会を創る—

本学が果たすべき役割

21世紀に入り、グローバル化が急速に進展した一方で、多様な価値観のぶつかり合いによる国家・民族間の相克や社会的・経済的格差の顕在化など、様々な問題が生まれ、世界は混迷を深めつつあるように見えます。日本では少子高齢化が進行することにより、新たな価値観に基づく社会システムの構築が模索されています。こうした現代社会が抱える諸問題に真摯に向き合い、グローバル・パートナーシップを醸成して問題解決への取り組みを重ねることによって、ともに持続可能な社会を築いていくことが、いま求められています。

そこで重要になるのは、一人ひとりが人類の英知に学びながらそれぞれ個性を育み、多様な個性を尊重しつつ、社会のあらゆる場面で協同することを日常化することです。

明治大学は、2031年に創立150周年を迎えます。これまで、建学の精神である「権利自由、独立自治」を体現した多彩な人材を輩出してきました。これからも、多様な「個」を磨き、自ら切り拓く「前へ」の精神を堅持し、社会のあらゆる場面で協同を進め、時代を変革していく人材を育成します。

これら人材の育成に必要な教育の基盤は研究、すなわち知の創造にあります。各専門分野を牽引する独創的研究を推進するとともに、学際的・国際的連携によって知の厚みを蓄え、新たな課題に挑戦します。

建学の精神を体現した人材の育成と知の創造を通して共創的未来へと前進します。

さあ、ともに前へ！





教育活動を前へ

1 教育における全学ビジョン

予測不可能な時代において国内外の様々な課題に対峙し、自ら切り拓く「前へ」の精神を持ち、解決策への道筋を示すことができる人材を育成します。そして、新たな課題に対応できる教育活動を展開するとともに、多様な価値観を受容し共に学び共創する教育環境を整備し、世界トップレベルの教育力ある大学を目指します。そのために、以下に掲げる事項を実践します。

- 1 総合大学として、学部・研究科の枠を超え、社会のニーズに対応した教育プログラムを展開します
- 2 大学院では教育と研究を深化させ、世界のフロントラインで活躍する研究者を養成します
- 3 教育を受ける時期や年齢・場所を問わない、多様な教育を提供します
- 4 国内外から多様な学生を受け入れるとともに、世界に挑戦する学生を支援します
- 5 全学的な文理融合によるリベラルアーツ教育や初年次教育を提供します
- 6 急速な社会の変化に対応するため、基礎・理論と実践にまたがる教育を展開します
- 7 次世代のICTを活用した先端的な教育方法を全キャンパスで展開します
- 8 建学の精神（権利自由、独立自治）に基づく人材育成と人権・平和教育を実践します



学生一人ひとりが輝けるよう前へ

2 学生支援における全学ビジョン

明治大学に在学する学生一人ひとりが輝き、自らの成長と自己実現に向けて「前へ」と進める場となる環境を整え、充実した学生生活が送れるよう、以下に掲げる事項を実践します。

- 1 スポーツや文化活動・留学・社会貢献活動など、学生が様々なことに挑戦できる支援体制を構築します
- 2 学生の夢を実現させるための奨学金制度を拡充します
- 3 多様性に配慮したキャンパスを整備するとともに、キャンパス全体を相互に関連させたラーニング・commons構想を推進します
- 4 すべての学生の多様な相談に対応するための支援体制の充実・機能強化を図ります
- 5 一人ひとりの「個」にあわせたキャリアデザイン形成を支援し、「就職の明治」を継承します
- 6 大学スポーツの持つ力を見つめ直し、学内外へその魅力を発信します



研究活動を前へ

3 研究における全学ビジョン

飢餓や貧困、格差、地球温暖化などの社会問題に向き合い、持続可能な社会の実現を目指し、本学の研究活動をさらに「前へ」推進します。そのために、以下に掲げる事項を実践します。

- 1 革新的な研究を推進し、「研究のMEIJ」として世界でのプレゼンスを高めるため、国内外の様々な機関との共同研究や産学官共同研究を推進します
- 2 学外研究資金の戦略的獲得支援や共同研究の受け入れ支援をはじめ、国内トップクラスの研究体制・研究環境を構築します
- 3 次代を担う研究者育成のための研究支援体制を構築します
- 4 学部・研究科の枠を超えた共創・学際的研究を推進し、その成果を社会や産業界へ還元します



持続可能な社会の実現に向けて前へ

4 社会連携・社会貢献における全学ビジョン

本学が保有する人的資産や図書館・博物館などの知的資産を活用し、社会および地域との連携を深め、「知の拠点」となります。また、社会や産業界に貢献し、教育・研究のみならずスポーツや文化活動においても交流を深め、持続可能な社会の実現に向けて「前へ」と進めるために、以下に掲げる事項を実践します。

- 1 明治大学が持つネットワークを最大限に活用し、国内外の地域連携活動を推進します
- 2 地域社会に開かれたリカレント教育を含む生涯学習の拠点として、学びの機会を提供します
- 3 国・自治体・企業や諸団体と連携した事業を展開します
- 4 スポーツや文化活動を通じた地域・社会貢献を推進します



明治大学をさらに前へ

5 大学運営における全学ビジョン

建学の精神・教育理念に基づく教育・研究活動を永続的に発展させ、さらに明治大学を「前へ」と進めます。そのために、法令・社会規範遵守のうえ、次代に向けた長期的な視点で以下に掲げる事項を実践し、大学運営を行います。

- 1 ダイバーシティ&インクルージョンの理念に基づいた大学運営を行います
- 2 校友会・父母会など本学を支える諸団体との連携を強化し、大学の振興を図ります
- 3 本学の中高大一貫教育の核となる付属校をはじめとして、様々な高大連携を推進します
- 4 将来を見据え、各キャンパスの特性を生かした施設整備を行います
- 5 IR (Institutional Research) 機能を活用し、大学運営の可視化に努めます
- 6 新たな時代に対応できる教員組織、事務組織を構築します
- 7 戦略的広報を展開し、明治大学ブランドを国内外へ発信します



1 教育における重点施策

① 総合大学として、学部・研究科の枠を超え、社会のニーズに対応した教育プログラムを展開します

- イングリッシュ・トラックや学問領域を超えた横断的学位コースを複数構築
- 学生の英語コミュニケーションに関する全学的教育システムを開発・運用
- 図書館・博物館を最大限活用し、学生の主体的学びを促進
- ダブルディグリーや共同学位など他機関との学位プログラムを拡大

② 大学院では教育と研究を深化させ、世界のフロントラインで活躍する研究者を養成します

- 学際的に融合された研究を展開する国際水準の学位プログラムの設置
- 学術界のみならず、産業界で活躍する博士人材を育成
- 社会から研究者として戻ってくる人材の受け入れを推進
- 海外に長期滞在できる研究助成プログラムを推進
- 研究科の枠を超えた大学院共同研究などを拡充

③ 教育を受ける時期や年齢・場所を問わない、多様な教育を提供します

- 学部教育も含めた「学び直し」の場を提供
- リバティアカデミーによる全世代向けの生涯教育を推進
- 専門職大学院では有職社会人の再教育プログラムを拡充
- 双方向の情報伝達を基本とした授業のオンライン配信を充実

④ 国内外から多様な学生を受け入れるとともに、世界に挑戦する学生を支援します

- 社会構造の変化を見据えた多様な選抜方法の実施
- 多様な学生受け入れのため、全学部統一入試地方会場および海外指定校を充実
- 海外の優秀な教員を招聘し、トップスクールの教育を提供
- 外国人留学生のニーズに合った修学サポートやキャリアサポートの整備
- 海外大学のサマースクールへの派遣、海外インターンシップを拡充
- クォーター制度を活用し、海外留学など能動的な学びの機会を創出

⑤ 全学的な文理融合によるリベラルアーツ教育や初年次教育を提供します

- 文理融合のリベラルアーツ教育を推進
- 明大生が共通の素養を身に付けるための「初年次教育プログラム」を構築
- 異文化理解に欠かせない多様な外国語の学習支援環境を整備
- ICT技術の変化にともなう様々なリテラシースキルの育成

⑥ 急速な社会の変化に対応するため、基礎・理論と実践にまたがる教育を展開します

- 企業と連携したプロジェクト型授業を推進
- 持続可能な社会を支える人材を教育する専門職を育成
- 実務家教員の活用も取り入れたカリキュラムを編成

7 次世代のICTを活用した先端的な教育方法を全キャンパスで展開します

- eラーニングを活用し、柔軟に学べる環境を整備
- 本格的な遠隔教育を推進することで、文理・キャンパス融合型教育を展開
- 次世代ICT技術を活用し、学びのツールを開発

8 建学の精神(権利自由、独立自治)に基づく人材育成と人権・平和教育を実践します

- それぞれの個性に応じて社会で活躍できる人材育成をいっそう推進
- 平和教育登戸研究所資料館や博物館を活用し、人権・平和教育を実践
- 人権尊重と平和を希求する精神の養成



学生一人ひとりが輝けるよう前へ

2 学生支援における重点施策

1 スポーツや文化活動・留学・社会貢献活動など、学生が様々なことに挑戦できる支援体制を構築します

- 学生の多様なチャレンジをサポートできる、各種助成金・奨励金の充実・発展
- 学生個人および団体の各種成果の新たな学内共有方法の整備
- ボランティアセンターの設備・機能のさらなる充実
- 新たな海外インターンシップや海外ボランティア制度の開発

2 学生の夢を実現させるための奨学金制度を拡充します

- 学生が自己実現を目指すための経済支援として、より特色ある奨学金制度を展開
- 世界で活躍できるグローバル人材育成のため、海外留学を奨励する助成制度の強化
- 外国人留学生の受け入れ機能を強化するための各種奨学金施策の充実
- 大学院におけるより満足度の高い奨学金支援の実現
- 専門職大学院への入学を促進するための各研究科奨学金制度の充実

3 多様に配慮したキャンパスを整備するとともに、キャンパス全体を相互に関連させたラーニング・コモンズ構想を推進します

- 多様な背景を持つ学生が平等に教育研究その他の活動を行えるキャンパスの整備
- 多様な学生が交流を深め、多彩な活動を展開するスペースの整備
- 学びの場を有機的に展開するため、学術情報の効率的な提供を強化
- ICT技術を高度に活用し、障がいの種類に対応した学習サポートを提供
- 学生食堂、購買施設や学生寮の充実・拡大

4 すべての学生の多様な相談に対応するための支援体制の充実・機能強化を図ります

- 学生相談窓口の役割・機能を明確化し、学生が相談しやすい環境づくりを推進
- 多様な学生に対応するため、学習支援室の機能を強化
- TA(ティーチング・アシスタント)・SA(スチューデント・アシスタント)による学習サポートの強化



5 一人ひとりの「個」にあわせたキャリアデザイン形成を支援し、「就職の明治」を継承します

- 個別相談を中心としたface to faceの支援をさらに強化
- 外国からの留学生に対して、ニーズに合わせた支援行事を実施
- 学生がインターンシップに参加しやすい環境を整え、事前教育を含めた支援を強化
- 司法試験・公認会計士・国家公務員総合職の合格者増加を目指した支援環境の整備

6 大学スポーツの持つ力を見つめ直し、学内外へその魅力を発信します

- 学生および父母、校友による応援の輪が広がる体育会活動の仕組みづくりを推進
- スポーツ推進本部を中心に、学生が主体的に取り組むプログラムへの支援を推進
- 大学スポーツの魅力を積極的に発信し、本学のブランド力を向上



研究活動を前へ

3 研究における重点施策

1 革新的な研究を推進し、「研究のMEIJ」として世界でのプレゼンスを高めるため、国内外の様々な機関との共同研究や産学官共同研究を推進します

- 研究組織であるインスティテュート、クラスター、ユニットを充実・発展
- 高等研究院を活用し革新的な国内外の研究者の短期招聘、優秀な研究者の任用推進
- 研究者データベースなどから効果的に研究を発信
- 大学や研究者自身の世界での立ち位置が視覚的に把握できる環境を整備
- 共同研究を推進するため、モビリティを高める支援策を推進

2 学外研究資金の戦略的獲得支援や共同研究の受け入れ支援をはじめ、国内トップクラスの研究体制・研究環境を構築します

- 研究組織を継続的に発展させ、国内外の研究者の受入れをさらに促進
- 大学リサーチアドミニストレータ(URA)の導入
- 学外研究資金の獲得のため、申請に関わる支援を強化
- 先端研究を支える高度な大型装置などの研究設備をさらに充実

3 次代を担う研究者育成のための研究支援体制を構築します

- 国際的なネットワークを作るリーダーの育成
- 学内の競争的研究資金の重点配分
- 助教や助手の採用人数を増やし、それらの育成体制を強化
- 次代を担う研究者として大学院生を育成し、研究のすそ野を拡大

4 学部・研究科の枠を超えた共創・学際的研究を推進し、その成果を社会や産業界へ還元します

- 革新的な国内外の研究者の短期招聘、優秀な研究者の任用推進
- 共創・学際的な研究を評価するため、リサーチマーケティングチームを設置
- 研究成果の社会還元を推進するための研究発信促進助成制度を構築
- 創生された研究成果をリポジトリにより公開



持続可能な社会の実現に向けて前へ

4 社会連携・社会貢献における重点施策

1 明治大学が持つネットワークを最大限に活用し、国内外の地域連携活動を推進します

- 学内地域連携活動のハブ的機能を構築し、地域社会からの要望などとのマッチングを実践
- 創業者出身地域をはじめ、地域ブロックにおける地域連携拠点を確立
- 国内外で活躍する校友と連携し、大学の知的財産を活用した事業を展開
- 持続可能な17の開発目標(SDGs)の目標達成のため、海外の高等教育機関と連携事業を実施
- 海外ボランティアや、現地企業と連携した海外インターンシップの推進

2 地域社会に開かれたリカレント教育を含む生涯学習の拠点として、学びの機会を提供します

- 生涯学習機関の質的向上と、多様なニーズに応える講座カリキュラムの展開
- 連携事業の取組方針を定め、「学び直し」のブランド化を推進
- 図書館・博物館や研究機関と連携した講演会やシンポジウムの開催
- 教員免許状更新講習・司書講習などの実施により、教育専門職制度の発展に貢献
- 地域の小中高校生に対し、研究成果に基づいた出張講義や各種講演会を展開

3 国・自治体・企業や諸団体と連携した事業を展開します

- 政府や国内外の連携機関と、本学が蓄積した様々な資料を活用した連携事業を実施
- インキュベーション施設などを利用したベンチャー支援
- 企業などからの要望に応じたオーダーメイド型社員研修の充実・強化
- 地域社会が求めている生涯教育への協力を推進

4 スポーツや文化活動を通じた地域・社会貢献を推進します

- スポーツ・文化・課外活動を通じて、幅広い地域・社会への貢献を推進
- 体育会各部の地域・社会貢献活動を推進
- 学生団体・サークルの情報発信による明大生と地域社会のつながり強化



明治大学をさらに前へ

5 大学運営における重点施策

1 ダイバーシティ&インクルージョンの理念に基づいた大学運営を行います

- 差別や偏見による人権侵害が生じることのない大学づくりの推進
- すべての構成員がキャンパスのあらゆる場で平等に活躍・交流できる環境整備
- 女性や外国人の教員・研究者の採用や、女性管理職の登用などの目標数値達成

2 校友会・父母会など本学を支える諸団体との連携を強化し、大学の振興を図ります

- 国内外の校友会や父母会と連携を強化し、各団体の活動を支援
- 学生の経済支援をバックアップする体制を構築
- 寄付を有効活用した教育研究の拡充
- 学生のU・Iターン就職を意識した地域講座を展開
- 体育会活動など課外活動への応援の輪を積極的に拡充

3 本学の中高大一貫教育の核となる付属校をはじめとして、様々な高大連携を推進します

- 付属中高の拡充と多様化を図り、本学独自の一貫教育による人材育成を推進
- 大学入学前の語学教育などの成果を生かした留学促進
- 国家資格取得について付属校教育の特色を生かしたサポート体制強化

4 将来を見据え、各キャンパスの特性を生かした施設整備を行います

- 各キャンパスの施設整備計画を調整した長期キャンパスデザイン構想を策定
- 4キャンパスのリソースを有効活用し本格的な遠隔教育を推進
- ICT環境や支援システムの構築を通じて、学生同士が知的交流を図る場を提供
- 学生が快適に利用できるスチューデントセンターを設置
- すべての構成員がキャンパスのあらゆる場において平等に活動し、尊重される施設の整備
- 図書館・博物館の充実と、明治大学東京国際マンガミュージアム(仮称)の整備

5 IR (Institutional Research) 機能を活用し、大学運営の可視化に努めます

- データベースの統合化を図り、全学的な情報利活用の基盤としてIRシステムを活用
- 学習過程・学習成果などを把握し、学習指導を支援
- 教学マネジメント、教育の質保証をデータ分析面から支援
- 教育研究の取り組みを各種レポートやWEBサイトを通じて積極的に発信

6 新たな時代に対応できる教員組織、事務組織を構築します

- 教育力のみならず、研究力を向上させるための教員支援体制を整備
- 複数の機関の業務に従事することができるクロスアポイントメント制度を導入
- 一定期間研究に専念できる研究専従型教員制度など新しい制度の実現
- 海外の高等教育機関との教職員交流・交換を推進
- 新規課題・政策課題に対して、永続的に対応できる事務組織の構築

7 戦略的広報を展開し、明治大学ブランドを国内外へ発信します

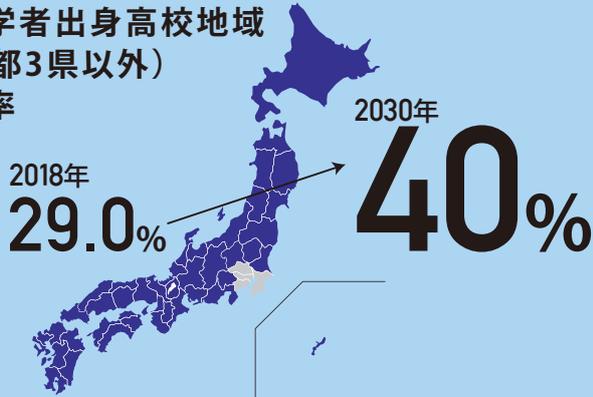
- 新技術を駆使した新しい広報手段で、本学の魅力を発信
- 国内外で活躍する校友を起用して明治大学ブランドを広く発信
- 本学の研究力を広く社会に発信し、研究ブランド力を向上
- ダイバーシティに配慮した情報発信体制を構築

目標数値

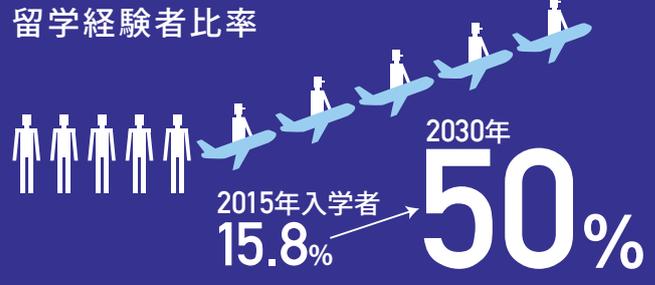
留学生比率(数)



入学者出身高校地域 (1都3県以外) 比率



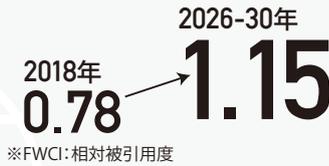
留学経験者比率



受入研究費



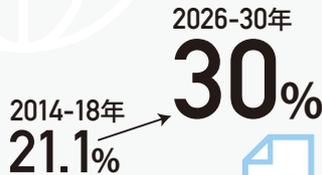
論文インパクト (FWCI)※



国際ジャーナル 投稿論文数



国際共著率



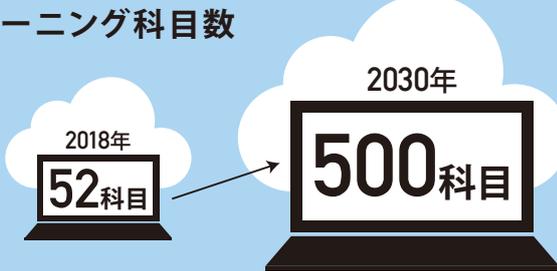
生涯学習講座 受講人数



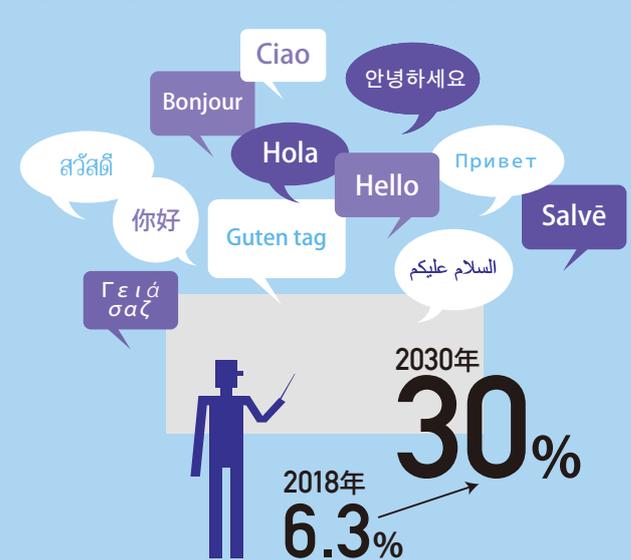
生涯学習講座数



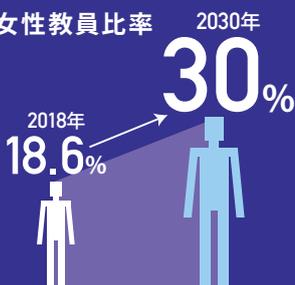
eラーニング科目数



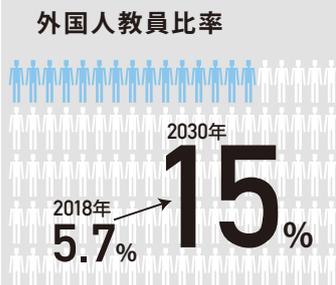
外国語による科目比率



女性教員比率



外国人教員比率



Go Forward



発行：明治大学

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

<https://www.meiji.ac.jp/gakucho/granddesign2030/index.html>

発行日：2019年12月19日

